

ここが知りたい!

訴えたい!

一般質問

山北清四郎 11 農村振興総合整備事業を問う

中島宗昭 12 景観・土地利用条例による壁面後退の明確化を
学校行事における国旗掲揚、国歌斉唱の指導状況を
相続登記を促し、

益田隆一 13 所有者不明化問題への早期対策を!

古賀知文 14 大木町総合戦略の評価の
スケジューリングは町政と連動しているか!

古賀泰弘 15 大木町農政の未来像は

徳永伸行 16 堀の再生どう取り組む?
ミドリガメどう駆除する

中島和正 17 議会報告会での町民の声を執行部へ!

山北 清四郎 議員

農村振興総合整備事業を問う

問

答

遅れた水路整備については次期事業で取り組む



問

平成27年9月の一般質問の中で、「本町の農村振興総合事業は、国の

予算の関係で完了年度が3年遅れで事業を完了するとしていた。また次期事業について、事業面や財政面で最も有効な補助事業を選択し実施していききたい」との答弁をもらっていた。次期事業のやり方や路線を問う。また要望箇所は代々の区長が変わる毎に申請し続けている案件。ある区長からは町から平成30年に施工と言われ関係者の同意もとりつけてあると聞いた。

スピード感を持った事業の推進を望むが町長の考えを問う。

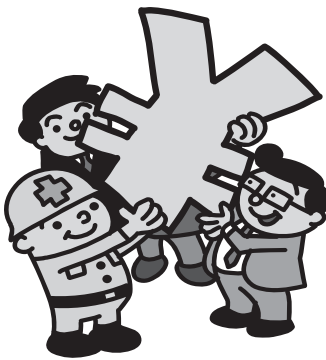
町長

これまでの30年間に約40億円

路整備延長約27キロメートルを整備し、一定の成果をあげていると認識している。

しかし、集落内の水路整備要望箇所も多く、十分に対応できていない状況であり、次期事業については、集落内の水路整備に重点を置き補助事業を選択していききたい。

いずれにしても、町の財政負担を考えると国庫補助事業や県の補助事業を活用し、事業の進捗を図っていききたい。なお、事業実施については、地域バランスや緊急性なども考慮し、地元の要望に沿うよう努力していく。



問

大木町は水と緑の町と掲げているが、集落内のクリークでは特に夏場に水がなく、蚊の発生源となっており、迷惑を被っている地区もある。町長のクリーク整備に対する意気込みをお聞かせ願いたい。

町長

集落の整備が早く進むように、次期事業の補助事業の選択、集落からの要望等の洗い直しや、遅れている部分については今後の事業で対応し、あわせて「大木町堀なおし計画書」など堀と向き合い、堀を生かす、大木町らしい生活を作っていく。そして、水と緑の町などを踏まえた理念をしっかりと考えながら、次期事業を選択して実施していきたい。



平成28年に示された大木町堀なおし計画書



景観・土地利用条例による 壁面後退の明確化を

問

答

審議会及びアドバイザー会議の中で
十分協議する

本町は、軟弱な地盤であることから堅牢な護岸であつても、崩壊や傾倒の可能性もある。また堀の維持管理作業にもバックホウなどの機械に頼ることになり、壁面後退は最低2メートル必要だと考える。

企画課長

壁面後退の協力
基準2メートル以上の根拠は。

堀に泥土がたまることは宿命であり、この地で暮らしていく以上は未来永劫、泥土浚渫は不可欠。さらに、法面の維持補修等を行つていく必要がある。堀の機能や景観を保全していく上で大変重要なものと認識している。

企画課長

今後の景観・土地利用条例化に向けて、堀の景観、環境維持のためにも壁面後退の必要性と、条例での明確化は大切なことだと思ふ。

問

今後の景観・土地利用条例化に向けて、堀の景観、環境維持のためにも壁面後退の必要性と、条例での明確化は大切なことだと思ふ。

問

自分の宅地等を守つていくには、3メートル以上、重機が使用できるくらいの壁面後退が必要だと思ふ。今後の景観・土地利用条例の検討委員会で十分検討して欲しいが。

企画課長

現在、景観・土地利用条例及び規則の骨子についてパブリックコメントを実施している。今後、景観・土地利用審議会及びアドバイザー会議の中で十分協議していく。



堀の景観環境維持

問

答

学校行事における国旗掲揚、国歌斉唱の指導状況は 社会科の授業でそれらを尊重する態度を育てる

問

学習指導要綱において、国旗掲揚するとともに、国歌を斉唱するよう指導すると定めてあるが、本町学校教育現場での指導状況は。

教育長

小学校の社会科で我が国の国旗、国歌の意義を理解させ、これを尊重する態度を育てるとともに、諸外国の国旗、国歌も尊重する態度を同様に育てる。中学校では、社会科公民の分野で国家間の相互の主権の尊重と協力との関連で、国旗、国歌の意義、並びにそれらを相互に尊重することが国際的な儀礼であることを理解させ、それらを尊重する態度を育てる。

問

社会の安寧に我が国一人ひとりが我が国の伝統と文化を守り、国土を愛する国民を育てるためにも国旗の掲揚は当然の行為であることから、本町においても国旗掲揚の推進を願うが。

町長

国民の祝日はみんなで祝い、感謝し、祈念する日であることから、玄関等に国旗を掲げていただき、その日が祝日であることを改めて実感し、祝日となった意味を考えるきっかけにしたいだけだと願っているが、強制するものではないと考える。





相続登記を促し、所有者不明化問題への早期対策を!

問

答

地域のお年寄りに対し、相続前の対策を考えてもらうべく、足を運んで解決へと導く。

問

昨年の3月議会にて空き家に対する質問をしたが、その後の空き家に対する進捗状況は?

建設水道課長

昨年12月に大木町空き家等実態調査業務委託報告書がまとまり、本町の空き家は172件、空き家率は約5%で、福岡県内12・7%、全国平均13・5%と比較すると低い数字である。集計結果、大溝校区80件、木佐木校区63件、大莞校区29件、また老朽度別空き家件数ではA判定(再利用可能空き家)24件、B判定(優良空き家)89件、C判定(再利用不能空き家)41件、D判定(不良空き家)16件、未判定2件となっている。今後は空き家特措法に基づき、空き家等対策計画の作成及び変更並びに実施に関する協議を行うための協議会を組織したいと考えている。それに伴う、空き家バンクの運営も検討している。

問

今後、どのようにして空き家を解決していくのか、具体的な考えを伺う。

建設水道課長

空き家所有者等への意向調査(アンケート調査)は、回答率65%で、高い回答率が得られた。その中で、約30%の方が、引き続き管理しながら、あるいは修理をして住みたいという回答であった。そして20%の方が賃貸、売買、もしくは解体して更地として利用したいという希望の方もいる。補助金を利用して、今後空き家対策協議会の中でも、専門的知識をいただきながら進めることで年間5件ぐらいの解決につながると考えている。



問

空き家になる前に対策を練る必要がある理由は、空き家自体も問題になることがさらに問題である。相続登記がなされていないために管理の放棄や放置、公共事業用地の取得、農地の集約化への大きな妨げになっている。固定資産税の徴収も困難になる可能性もあり、もっと相続登記の重要性を町民に理解してもらえよう促すことが必要であると思う。相続登記は早急の対策が必要であると思うが?

町長

相続対策もあるが、相続前の対策が必要であると思う。地域のお年寄りの方が一人で住んでいて、もしお亡くなりになられた時に、この家は空き家になった時に、地域に迷惑をかける可能性もある。今のうちに子供たちを集めてどうするかきちんと話を下さいというお願いに足を運ぶことが何より大切であると思う。そして町の方が、明確に空き家

意見

今後の課題
相続登記の問題!!
所有者不明化の問題!!

対策に対する指針を持つべきだと思う。他の市町村のように空き家データとして活用するのか、あるいは危険家屋を除去するのか、様々な対応を考えている。緊急性の高い事業を有利な交付金を使って事業を実施し、今後、空き家対策の予算も地方創生の中で取り組んでいく。

本町のほとんどの行政区でも、あきらかに空き家が増えているのが分かると思う。このままであれば、10年、20年後が心配であり、未来へ負の遺産を残してしまう。執行部も危機感を持って頑張ってもらいたい。



大木町総合戦略の評価のスケジュールは町政と連動しているか!

問

答

次年度の事業計画並びに
予算編成に反映できるよう計画する

問

大木町まち・ひと・しごと総合戦略

は、町民全体で戦略を理解し、日頃の事業の積み重ねで成し遂げるものだと考えている。それをけん引するのは、町長をはじめとする町の執行方、つまり町政である。従って総合戦略の評価は、町政と連動していなければ意味が無いと考える。以上のことから、評価のスケジュールが町政と連動したものであるか伺いたい。

企画課長

28年度の総合戦略の事務事業評価を29年度の秋口に計画している。そこで評価検証された達成度、及び事業の見直しについて、30年度の事業計画ないし予算編成に反映していきたいと考えている。

問

地方創生総合戦略

についての国の施策として、加速化交付金事業等があり、地方創生の目玉的存在として脚光をあびている。活性化の起爆剤という意味合いはあるが、戦略の目的ではないと考える。重要なことは、戦略の目的は、住民のためのまちづくりであると考えているが、町長の考えを伺いたい。

町長

総合戦略の目標は、7年目を迎える第5次大木町総合計画が掲げる基本理念「循環・共生・協働のまちづくり」のもと、目指す将来ビジョン「緑の風が吹き渡るふるさと、暮らしの輝く環のまち・おおき」を具体化すること、すなわち普段行っている事業そのものの完遂と考えている。現在、大木町まち・ひと・しごと

創生総合戦略により、緊急性の高い重要な課題を絞り込んで、効果的な課題解決のため、加速化交付金事業を活用しているところである。

大木町は豊かさや幸福感が実感できる将来ビジョンに向けて、限られた人材で、加速化交付金事業等多くの課題対応や地域経済の縮小に対応した自治体経営の再構築が求められており、効率的な行政運営と職員のスキルアップが必要と考えている。

適切な職員配置に心がけ、住民サービスの低下を招かないよう十分留意した行政運営に心がけたい。



意見

総合戦略の目的は、将来につながる豊かな、住み良い、人が集まるまちづくりではないかと考える。国の施策という大きな流れの中で、大木町としての本来あるべき姿を見失わないよう、沈着冷静な判断をもって、総合戦略を推進していただきたい。





問 大木町農政の未来像は

答 生産性・収益性の高い農業を実現

問 施政方針を聞いたが、農業の活性化を具体的に示していただきたい。

町長

昨今の農政は、米の生産調整の廃止を初め、集落営農組織の法人化や大規模化、さらにTPP環太平洋経済連携協定が、昨年末の国会で詳細な情報の開示がないまま批准され、経済のグローバル化への対応に大きく方向転換している。国の農政が激変し、先行きが不透明な中、本町農業を振興、活性化させていくかは重要な課題である。

近年農地の地力低下や、土地改良により施工した暗渠排水設備の機能低下による排水不良等で、小麦、大豆等農作物の収穫量が年々減少してきている。そのため畑作物の栽培条件の一つである農地の排水性を高めるために、暗渠排水工事の早期完了に向けて支援していく。

加えて、廃菌床を活用した良質な完熟堆肥化を図り、イチゴ、グリーンアスパラガスを初め、小麦、大豆圃場等に施用するシステムを構築し、農地

の機能向上を図っていきたい。

農業従事者の減少や高齢化などの問題は、株式会社NJアグリサポート等との連携による新規就農者の確保・育成に加え、新たに里親制度を導入し、農地や住居、結婚相談までトータルに支援し、地域に定着していきけるような環境を整備する。

イチゴやグリーンアスパラガスなど施設園芸作物については、比較的労働生産性、収益性が高く、引き続き新規就農者の参入促進を進め、生産の省力化・省エネ化施設の整備を支援し、産地の維持、拡大を図る。

問 新規就農者の受け入れは、計画的に実施しているか。

産業振興課長

県の若者の農業・農村参入及び定着促進事業に取り組み、毎年5名を目標に、新規就農者を確保していくよう計画している。

株式会社NJアグリサポート等との連携により、毎年2〜3名のイチゴ栽培研修終了

生を受け入れていくほか、県主催の新規就農フェアや県農業大学校での新規就農相談会などでPRし、目標達成に努めていきたい。

新規就農者の受け入れの際は、新規就農者と面談を行い、希望する営農品目や規模、栽培技術や農地の有無など、諸要件を確認している。

特に他市町からの移住就農者の場合、技術や農地、住居など、何もない状況でスタートする方がほとんどで、先進農家で技術指導を受けるようプログラムし、JA福岡大城生産部会や農業委員会の協力を得て、就農希望地区や営農規模に応じた農地を探しマッチングを行っている。



新規就農者ハウス

問 営農組合から法人化組合への移行を推進している。今後の考え方は。

産業振興課長

町では地域農業を維持していくための担い手確保策の一つとして、集落営農組合の組織化、さらに法人化を推進し、関係各位の尽力で現在12組織が法人化、全農地面積の約21%をカバーしている。

現段階では集落営農組織も法人化したばかりで、経理や従事分量配当などの煩雑な事務に戸惑われ、農業生産法人として、経営の視点に立った方針の確立には至っていない。

新年度より地域農業の担い手組織を再編し、営農組合法人に対して事務処理や営農計画についての研修会等を通じ、法人経営ノウハウの習得を始め、高性能大型農業機械の導入支援や農地集積・集約化をすすめる、効率的な生産体制の確立と永続的で安定的な経営発展に向け支援していく。



問 堀の再生、どう取り組む？

答 町の大きな問題、関係部署連携して再生に取り組む！

課題を共有化するため、水と土と緑の再生推進会議を設置し、大木町堀なおし計画を策定した。

泥土処理は、重点プロジェクトの一つ。隣接する圃場へ還元するのが最も適した処理方法と考える。泥土の成分に重金属類の含有量が基準以下であることの確認も必要で、分析結果が3月末に出る。安全性が確認できれば、空缶や空瓶などの

問 堀の再生、どう取り組む。

企画課長

堀の再生は本町にとって最も重要な課題の一つであるが、遅々として進んでいないのが現状。

堀の荒廃の原因は、①維持管理システムの崩壊、②生活雑排水の垂れ流し、③農薬や化学肥料、④外来種など、暮らし方や堀とのかかわり方の変化によるもの。また水路が整備され、水の流れが変わり、整備地区外、集落内の堀に水が回らなくなった。

異物除去について、検討に入る。また、木柵による小段をつくり、護岸の補強と兼ねて泥土置き場を確保する方法を進める。変化した水の流れについて、新たな水利慣行を構築する調査研究を始め、水の浄化や生態系に配慮した多自然型工法を取り入れる為の整備指針の策定、堀の維持管理を行う為のルール作りなどを優先的に取り組む。官民挙げた推進体制を整え、国・県の支援を求めつつ、周辺自治体とも連携を図りながら進めていく。



木柵による小段

問 ミドリガメどう駆除する

答 新捕獲罟を使い生け捕りする、堆肥化を計画

大木町の事例報告にて、捕獲したミドリガメの処分に大変苦労したこと、在来種のカメもまだ多く生息していること、捕獲して死滅すると悪臭があるなど問題提起があった。東播磨地区で取り組まれている捕獲用の罟と堆肥化について教示戴いた。捕獲用罟については石丸山公園にて実演を行った。カメの日光浴を行う習性を利用して捕獲する。生きたまま捕獲するため、在来種の保護が可能となる。餌が不要で確認する頻度が少なくてすむ。堆肥化は特別な施設設備は必要なく、問題の悪臭もしない。

問 ミドリガメ駆除 どう取り組む。

企画課長

堆肥化に向けて取り組む。捕獲は、在来種の保護ができる仕掛けを導入する。

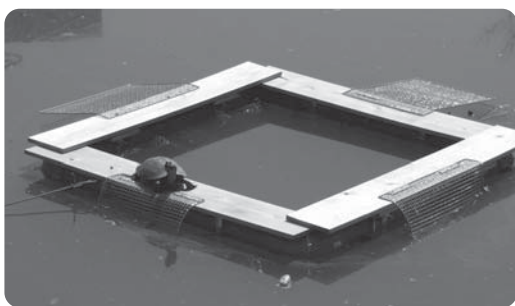
兵庫県東播磨地区でミドリガメの駆除に先進的に取り組んでいる和亀保護の会代表を講師に招いて「堀なおしフォーラム」を開催した。

まずは石丸山公園で実験的に取り組む。堆肥は良質とのことで花の植栽などに活用していただく。

実施地区を拡大させ、新たな捕獲方法を取り入れ、堆肥化にも取り組む。資材等の費用も交付金とは別に計上していく。

ミドリガメの駆除自体が目的にならないように、ヒシやハス、レンコン等の水生植物を復活させるなど、駆除を通して目指す地域像を掲げていただく。

堀と疎遠になった暮らしやかかわりを、再び堀に向けてもらう取り組みにつながることを期待している。



カメの日光浴罟



問 議会報告会での町民の声を執行部へ!

答 声を反映した施策づくりに取り組む!

問

大木町の住民が大木町にふるさと納税を行う場合、現状では返礼品がない。ふるさと納税による納税意識の高まりや郷土愛を育むことが期待でき、その効果が期待できる返礼品を送る方向で検討できないか。

企画課長

町民にお礼の品を送ることは、町民にふるさと納税を推奨する行為となる。住民が居住地にふるさと納税することは問題ないが、居住地に寄附を行った場合、寄附金が町の収入となり、住民税控除分は地方交付税で措置され、結果的に自治体間の財政の均衡を目的とした地方交付税制度に則しない。したがって、本町のふるさと納税を推奨する形となる町民への返礼品は考えていない。

問

ふるさと納税に関する紹介者制度など情報発信についての今後の対策は。

企画課長

紹介者制度は過去2年間実施した。結果は紹介による申し込みが、それぞれ26年度が2%、27年度は0.5%と低調。

問

町民の健康づくりのため福祉ポイント制度を導入し、健康の維持と社会福祉の向上に役立てるようできないか。

副町長

地域ポイント制度の導入は、地方創生の事業の一環として、九州大学との共同研究により制度設計を行い、平成29年度中の本格導入に向けて準備を進めている。

問

大木町に帰省した方が、大木町に住んでい提示することで、何らかのサービスが受けられる制度を創設できないか。

企画課長

大刀洗町や佐賀県有田町などが転出した若者が再び地元に戻り、それがきっかけでUターンにつながるれば、同窓会の開催費用の一部助成などを行っている。また、鹿児島県の長島町では、転出時に転出の理由や改善点などのアンケート調査を行い、希望者には広報紙を送り関心をつなぎとめる施策を行っている。他の取り組みなども調査し検討していきたい。

問

健康づくりの拠点施設であるアクアス。莫大な修繕費を要するアクアスをどうするのか。まち一丸となった検討委員会の設置を検討すべきでは。

副町長

アクアスは、平成10年4月にオープンして建設から19年が経過し、設備や建物の経年劣化等により修理費の負担も大きくなっている。

一方で大木町の医療費については年々増加し、市町村別実績医療費においては県内1位、1人当たり医療費は県内3位と非常に高く、今後、人口減少や少子高齢化の進展で、財政が逼迫する中、町民の健康づくりや、いつまでも高齢者が元気に暮らせるまちづくりを推進することが町の最重要課題であり、アクアスの役割は重要になる。

アクアスの今後の利用や新たな施設の整備方針などを検討する必要があり、委員会の設置等は29年度中には具体化する。



議会報告会の様子